

GNI(国民総所得)



Q:「GNI」とはどのようなものですか

A: GNI(国民総所得)とは国の豊かさを測る経済指標で、「居住者が国内外から一年間に得た所得の合計」です。従来はGNP(国民総生産)と呼ばれていましたが、生産(Product)よりも所得(Income)の概念で捉える方がより正確なことから、GNIに名称が変更されました。

国の豊かさを測る指標には、GNIの他にGDP(国内総生産)があります。GDPとは、「国内で一年間に生産された付加価値の合計」です。GDPは経済成長を測る指標として最もよく利用されていますが、最近になってGNIへの関心が高まってきました。

Q:なぜ、最近GNIへの関心が高まっているのですか

A: GNIが注目されるのは、GNIとGDPの乖離「国外からの所得の純受取」と呼ばれますが近年拡大しているためです。実際、日本の「国外からの所得の純受取」は、1994年度から10年間で約3倍に拡大しました(2004年度10兆円)。その結果、GDPだけでは国の豊かさを十分に測ることができないため、GNIが注目されるようになってきたのです。

Q:「国外からの所得の純受取」とはどのようなものですか

A: 「国外からの所得の純受取」と

は、「国外で得られる居住者の所得」から「国内で支払われる非居住者の所得」を差し引いたものです(図表)。

所得の内容は、大きく分けて雇用者報酬と財産所得があります。

国外で得られる雇用者報酬の具体例としては、外国籍の航空機で勤務する居住者乗組員の給料があげられます。また、財産所得には、国外子会社が国内親会社に支払う利子・配当金(直接投資)や、外国企業の株式保有から得られる配当金(証券投資)などが該当します。

「国内で支払われる非居住者の所得」も同様に、雇用者報酬または財産所得の支払いとして記録されます。

Q:なぜ「国外からの所得の純受取」が拡大したのですか

A: 最大の要因は、経済のグローバル化を背景とした、国外からの所得受取の増加です。特に、証券投資

から得られる利息や配当は94年度からの10年間で、+4.1兆円と大幅に増加しました(2004年度9.1兆円)。今後もグローバル化の進展とともに、国外から得られる所得はさらに拡大すると予想されます。

Q: 今後は、GNIとGDPのどちらをより重視すべきですか

A: どちらを重視すべきかは、あらかじめ決まっているわけではありません。例えば、経済政策の議論では国内生産活動の指標であるGDPを重視することが多い一方、社会保障の議論では居住者の所得水準を表すGNIを重視するのが一般的です。GDPとGNIのどちらをより重視するかは目的によって異なります。自身の目的に応じて使い分けすることが大切です。■

みずほ総合研究所 経済調査部
徳田秀信
hidenobu.tokuda@mizuho-ri.co.jp

● GNIとGDPは「国外からの所得の純受取」だけ乖離

		国外からの所得の純受取
GNI =	国内で得られる居住者の所得	国外で得られる居住者の所得
GDP =	国内で得られる居住者の所得	国内で支払われる非居住者の所得

(資料) みずほ総合研究所作成